

富山市におけるコミュニティサイクルの導入について
～民間資本を活用した次世代レンタサイクル～

富山市環境部環境政策課

1. はじめに

コミュニティサイクルは、地球温暖化や大気汚染、渋滞、放置自転車の問題に対する対策として、欧米の主要都市では次第に一般化しつつあり、現在、我が国においても国や地方自治体等で実証実験が盛んに行われています。このような中、「環境モデル都市」である富山市では低炭素社会に向けた先駆的な取り組みとして、今年3月にコミュニティサイクル（愛称：アヴィレ）を全国に先駆けて導入しました。

2. 導入の目的と背景

富山市は、富山県の中央部に位置し、人口約42万人、面積は約1,242k㎡と富山県の約3割を占める広大な市域を有する日本海側有数の中核都市として発展してきましたが、近年、平坦な地形や自動車に過度に依存した交通体系などを背景に、都心部の市街地の外延化が進んでおり、県庁所在都市では全国で最も低密度な市街地となっています。

このような状況の中、今後本格化する人口減少や超高齢社会に対応した持続可能なまちづくりが求められており、公共交通の活性化や都市機能を集約した集約型都市構造への転換など、自動車がなくても安心して生活ができる「コンパクトなまちづくり」を推進してきました。

また、平成20年には、このコンパクトなまちづくりを核とした温室効果ガス削減計画が評価され、国（内閣府）から「環境モデル都市」に選定されており、大幅なCO2削減目標と具体的な取り組みをまとめた「富山市環境モデル都市行動計画」を策定し、他の都市のモデルと成り得る先駆的な取り組みを意欲的に行っているところです。

これらを背景に、環境にやさしい新たな公共交通として、また既存の公共交通の2次交通として、さらには回遊性が強化されることによる中心市街地活性化のための手段として、次世代レンタサイクルとして期待されるコミュニティサイクルの導入に至りました。



図1 富山市の位置図

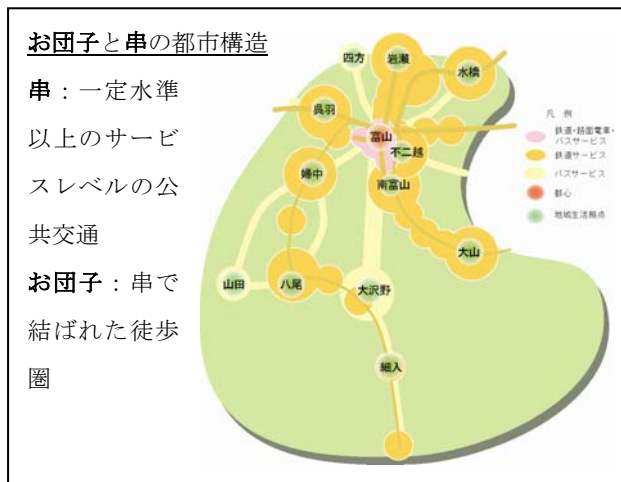


図2 富山市が目指す都市構造概念図

アヴィレは、150 台の専用自転車と中心市街地エリアの 15 箇所に狭い間隔でステーション（自転車の貸出・返却拠点）を導入・整備し、事前に簡単な登録を行うことにより、いつでも気軽に好きなステーションで自転車の貸出と返却が行えるもので、今年 3 月 20 日にサービスを開始しています。

3. 事業形態について

(1) 実施主体

自転車やステーション等の設備の整備から、機器のメンテナンス等の運營業務まで、全て民間事業者のシクロシティ株式会社が行います。シクロシティ社は、パリ市の Vélib'（ヴェリブ）等、ヨーロッパの 64 都市でコミュニティサイクルシステムを運営する JCDecaux（ジェイシードゥコー）社の 100%出資の日本法人です。

シクロシティ社は、利用者からの基本料及び利用料に加え、ステーション等の機器に追加した広告の収入により、自転車等の機器の清掃・メンテナンスや、ステーション間の自転車の偏在を解消するための台数調整作業、コールセンターの運営等の事業運営を行います。

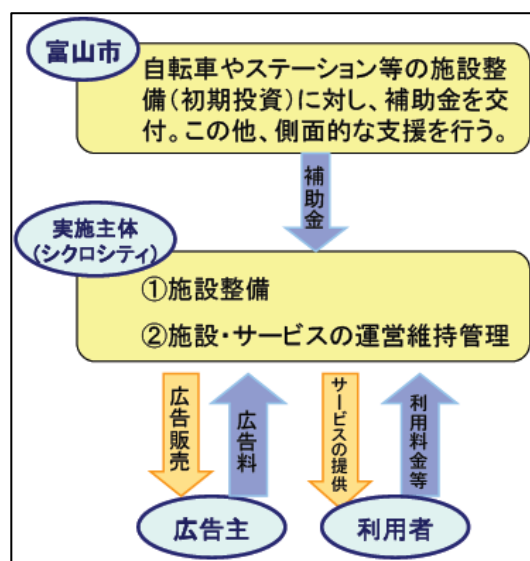


図 3 事業実施形態の概要図

(2) 富山市の役割

前述のとおり、このコミュニティサイクル事業の整備から運営まで、全てシクロシティ社が行いますが、より円滑かつ確実に事業の実現を図るため、本市では、以下のような側面的な支援を行っています。

- ①初期投資（ハードウェア購入費や工事費、システム開発費等）に対し補助金を交付。
- ②道路管理者や警察、ステーション等の地先関係者等との協議（協力）。
- ③広報・PR 活動の協力。
- ④道路占用料（市道）の減免。
- ⑤屋外広告物の掲出の許可。
- ⑥事務所の開設にあたり市行政財産の使用許可。

この他、利用状況等の調査の結果や、市民からの要望・意見等を検討・考慮し、サービスの質の向上を図るため、シクロシティ社に対し要望を行います。



図 4 広報・PR 活動の一例
(市内電車環状線のラッピング広告)

4. ステーション等の設備の整備

(1) 導入設備の内容

アヴィレでは、以下の設備を整備しています。

①専用自転車 (150 台)

盗難やいたずら等による故障に対応するため、通常の自転車よりも広径で厚いフレームを使用し、ブレーキや変則ギア用のケーブルを全てフレームの中に収納する等、より耐久性の優れた設計がされています。

基本的にパリのヴェリブの車体と同じ仕様ですが、カラーリングは富山市のイメージカラーであるステアリングブルーを採用しています。



図5 専用自転車

②ステーション (15 箇所)

ステーションは、実際に自転車の貸出・返却を行う拠点のことで、自転車の貸出・返却の他、近傍のステーションの空き状況や利用料金等の個人の利用状況を確認することができます。ステーションは、管理端末であるターミナルが1基、自転車を固定するラックが16基、情報掲出パネル1基により構成されています。



図6 ステーション

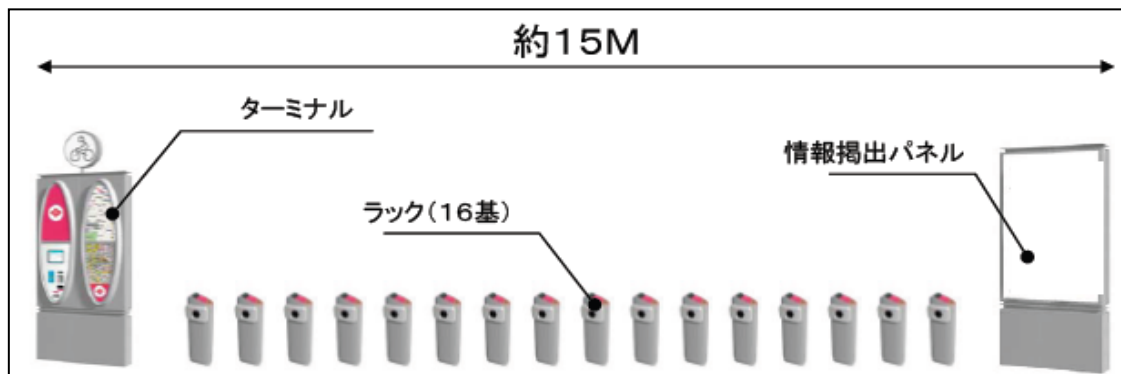


図7 ステーションを構成する機器

③情報掲出パネル (15 基)

ステーションに併設するもののほか、最寄りのステーションを利用者に知らせるため、地図情報等を掲出した単独の情報掲出パネルを15基設置しています。



図8 情報掲出パネル (単独)

(2) ステーションの設置場所

15箇所のステーションは、図9のとおり、富山市の中心市街地エリアに設置しています。

各ステーションの設置場所については、下記の配置方針のもと、富山市とシクロシティ社による協議のうえ案を作成し、道路管理者や警察、更には設置場所近傍の地先関係者との協議を経たうえで決定しています。

(ステーション配置方針)

- ・ 配置間隔は概ね 300m。
- ・ 大規模集客施設の近傍。
- ・ 公共交通の駅、停留所等の近傍。
- ・ 原則、歩道上とするが、公共用地も対象とする。



図9 ステーション位置図

ステーション 15 箇所のうち 14 箇所を歩道上（国道、県道を含む）に設置し、1 箇所は公共用地（公園内）に設置しています。また、ステーションは図 10 に示すように歩道上の車道側に設置しています。

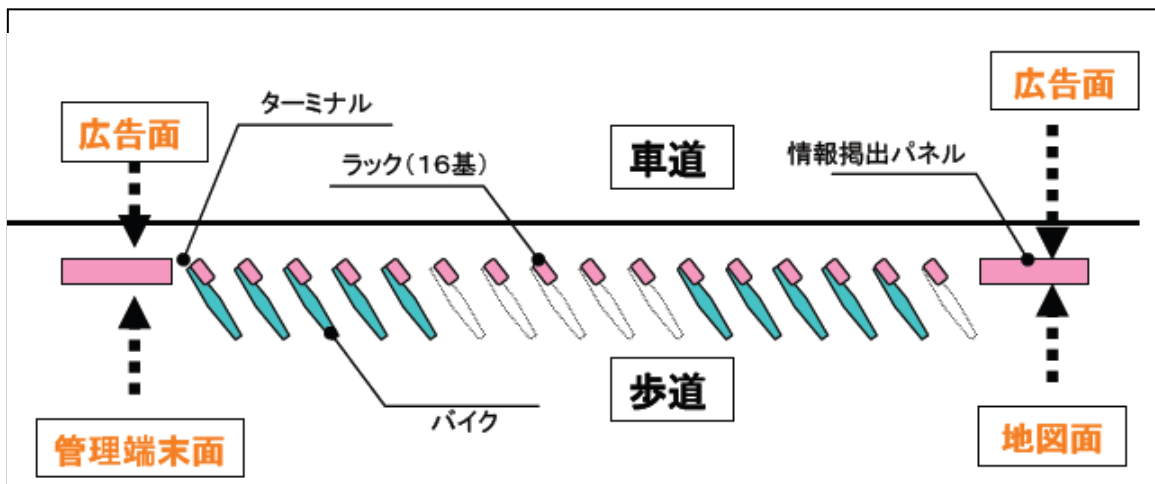


図10 ステーションの構成

このように、ステーションを公共施設の敷地内や既存の駐輪場内に設置せず、歩道上に設置する理由としては、ステーションに対する高い視認性を確保することにより、

- ① 探し回ることなく容易にステーションの場所を把握できるとともに、ステーションから道路へのアクセス距離が短くなる等の利用者の利便性を高めることができる。
- ② ステーション機器に対するいたづらを防止することができる。
- ③ ステーションに添加された広告価値を高めることができる。

(3) 道路占用

ステーション等の歩道上への設置については、「道路法施行令の一部を改正する政令（平成19年4月1日施行）」により、道路管理者以外の主体でも道路上に自転車駐輪場を占用物件として設置できるようになったことを受けて、事業主体であり設備所有主体であるシクロシティ社が各道路管理者に道路占用許可を申請・取得しています。

また、具体的なステーション設置箇所については、道路管理者や警察との協議の上、ステーション設置後の歩行者等の有効幅員を3m以上確保できる場所とし、白線による占用範囲の明示、歩車道境界ブロックの設置等、安全利用が十分に図られるような対応をとっています。

5. 利用方法と利用料金

アヴィレには利用期間の違いにより、「定期（1年）パス」と「7日パス」の2種類のパスがありますが、いずれも利用の際には事前登録が必要です。

(1) 利用方法

定期パスの場合

① 事前登録

- ・シクロシティ社ホームページで、住所、氏名等の登録者情報を入力。
- ・基本料金等の支払い方法を選択（クレジットカード or 口座振替）。
- ・利用カードの選択（メンバーカード or パスカ※）。

② 利用手段の提供

登録完了後、登録した住所にメンバーカードが送付される。パスカを利用カードとして利用することとした場合には、登録完了後、メールでID番号や暗証番号が送付されます。

③ 利用方法

パスカはステーションでID番号等を使いパスカを認証後、利用可能になります。メンバーカードは即時利用可能。



図11 メンバーカード

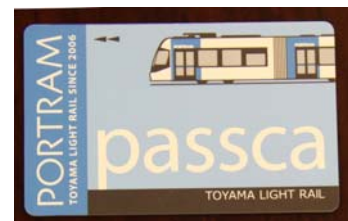


図12 パスカ

※パスカは富山ライトレール㈱が発行するICカードで、市内のLRTや駐車場で使用できる。

7日パスの場合

①事前登録をする。

- ・シクロシティ社ウェブサイトで、住所、氏名等の登録者情報と料金の支払いに関する情報（クレジットカードのみ。）を入力。
- ・利用方法の選択（パスカ or ID番号入力）。

②利用手段の提供。

(パスカ)

- ・登録完了後、メールでID番号や暗証番号が送付される。ターミナルでID番号等を使いパスカを認証後、利用が可能になります。

(ID番号)

- ・登録完了後、メールでID番号や暗証番号が送付される。ターミナルでID番号と暗証番号を入力後、利用が可能になります。

③ 利用方法

ターミナルでID番号等を入力後、利用したい自転車を選択し開錠します。

(2) 料金

アヴィレの利用には、パスの種類に応じた基本料と自転車の利用時間に応じた利用料がかかります。支払い方法は、クレジットカードか口座振替です。

・基本料金

定期パス		7日パス
パスカ	メンバーカード	
500円/月	700円/月	1,000円

・利用料金

1回の利用時間	利用料金
最初の30分まで	無料
31分～60分	200円
61分～30分ごと	500円

6. 利用状況

サービス開始前の今年3月1日から会員の募集を開始し、平成22年6月30日現在で定期パスは691件、7日パスは111件の登録がありました。

また、利用回数もサービス開始の3月20日から6月30日の103日間で、延べ13,065回と順調に回数を伸ばしています。

7. おわりに

アヴィレは、既存の公共交通を補完する新たな交通網として、新しいライフスタイルを提案するだけでなく、昨年12月に開業した市内電車環状線「セントラム」とともに「コンパクトシティとやま」を象徴する事業の1つとして、中心市街地の活性化や回遊性の向上、さらには、CO2排出量の削減にも大きく寄与するものと期待されております。

今後も、利用状況の詳細な調査の実施等、より便利で質の高いサービスとなるよう実施事業者と検討を重ねながら、より多くの市民に利用されるよう努めていきたいと考えております。